

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハッピーテラス水戸おさえん通り教室				公表日	2026年2月16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	訓練室の広さに差があるため、利用者の状況やトレーニング内容に応じて使用する部屋を決めている。	運動の際には狭く感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	基準人員を満たす配置ができています。個別療育のため、1対1の対応を基本としているが、必要に応じて職員2人に対応することもある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	パーテーションを使用し、空間を分けている。トイレ前にはスロープを設置し、段差のない構造になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日、掃除・換気を必ず行い、空気清浄機を使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	基本的には、利用者1名に対して1部屋を使用している。	同時刻に3名のトレーニングがある場合には、個別に部屋を使用することは難しいため、パーテーションを活用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	日々の申し送りや会議を実施し、共有の場を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者向け評価表に記入いただいた内容を参考に、業務改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	日々の申し送りに加え、必要に応じて随時話し合う機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	本部による定期評価を受けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	本部主催の研修に積極的に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	玄関に掲示しているほか、ホームページにも掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	保護者面談にてニーズや意向を確認したうえで、ケース会議において職員間のすり合わせを行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	毎日の引き継ぎやケース会議で共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	支援計画を確認しながら、トレーニング内容を立案している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	本人や保護者にアセスメントを行い、支援に必要な項目を適切に設定し、個々の目標に即した具体的な支援内容にしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	個々のトレーニングの様子を随時共有したうえで、担当職員が立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	固定化しないように利用者の現状を常に共有しながら、内容の見直しを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	小集団のトレーニング前には打ち合わせを行い、内容や役割の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	当日中に時間を確保することは難しいが、翌日の申し送りにて必ず振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	日誌に対象児の課題や成長を必ず記録している。 職員それぞれ多様な視点を持っていることを踏まえ、今後も研修や勉強会を開催していく。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	こども本人が目標にしたいことを取り入れるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	主に児発管が参加をしているが、言葉の発達に課題が見られる場合は言語聴覚士も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	保護者様の同意を得た上で学校を訪問し、児童の様子等について教職員から情報共有を受けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	送迎は実施していないため、下校時刻の確認は行っていない。長期休みの期間等については保護者様に確認を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	保護者様のご希望や必要に応じて、以前通っていた保育園等へ連絡をすることがある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	該当する対象児がいないため、現在は実施していない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		研修のお知らせ等は届くが、時間の確保が難しく参加できていない。次年度は積極的に参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	トレーニング後に15分間のフィードバックを行い、その中で児童の成長や今後の課題を伝えている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	フィードバックの中で、家庭で取り組めるような支援方法を伝えるよう心掛けている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	体験時や契約時に丁寧な説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	計画更新の際には確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	内容を詳しく説明したうえで、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	トレーニング後のフィードバックに加え、要望があれば時間を設けて対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1		親子イベントを実施したが、計画的な開催には至っていない。今後は実施機会を増やしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	定期的な更新はできていないが、Instagramを活用して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報等は鍵付きの棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	特性や理解度に応じて、視覚的支援や分かりやすい言葉を用いている。保護者様に対しては都度意思を確認し、双方向のコミュニケーションを意識している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	消防訓練の記録は、都度掲示している。契約時に説明している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	防災訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	契約時に保護者様から必要な情報提供を受けている。予防接種に関しては、来所時に保護者様から報告を受けている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	食事提供は行っていない。アレルギーの有無については契約時にアンケートを実施し、把握している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	3ヶ月に一度、研修・訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	契約時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	必要に応じてその都度作成し、職員間で共有・検討する時間を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	3ヶ月に一度、研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	現在、該当する対象児はいない。今後必要があれば対応していく。		